Koyo SSH news 2020 第4号

編集：SSH 推進部
発行日：R02.10.02

SSH 特別講座「天文学講座」を行いました！

９月 18 日（金）の夜に，紀美野長文化センターで，SSH 特別講座「天文学講座」を実施しました。例年は，みさと天文台で実施しているこの講座ですが，現在，みさと天文台は大規模改修が行われているため，場所を変更しての実施となりました。

放課後に学校をバスで出発し，約 1 時間で到着しました。到着後に各自で夕食をとってからのスタートです。天気はあいにくの雨模様でしたので，星空を観察することは残念ながらできませんでしたが，みさと天文台の山内千里天文台長，硲間拓郎研究員，そして，みさと天文台友の会の松本会長が天文に関するお話をしてくれました。ブラックホールについてのお話では，非常に小さく重い星においては，その星の中心からのある半径（シュワルツシルト半径）の球面内では，光も脱出できなくなり，シュワルツシルト半径よりも小さいサイズに収縮した天体がブラックホールであることを教わりました。また、「Mitaka」という，国立天文台が開発した空間 3 次元に“時間”を加えた“4 次元”で宇宙空間をシミュレーションするソフトを用いた宇宙の説明や，実際の模型を使った月の満ち欠けと太陽の位置関係のわかりやすい説明をしていただきました。

事後の生徒の感想には次のようなものが見られました。「宇宙への興味が増した。これをきっかけに宇宙に関する様々なことについて知っていきたいと思いました。」，「教科書を見るだけでは分からないことも多く，専門の人に話を聞く大切さも感じました。」，「雨のため実際に星が見られなかったのは残念だったけれど，すごく楽しかったです。」，「この講座を受けて，普段なら知りえないような面白いことをたくさん知ることができました。そのため，自分の知らなかったことを学ぶことができるというのはとても面白いことだと思いました。」